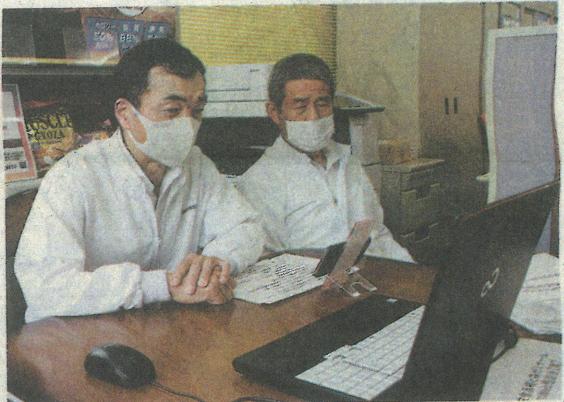




## 松本の信栄食品を選定

## 長野大ゼミが研究対象に



パソコンを使ったオンラインの懇談会で、会社の事業について学生に紹介する  
神倉社長(左)ら=松本市並柳の信栄食品で

用が多い若い学生の発想を取り入れ、販売促進や新たな事業展開に生かす。

二十五日は同社の神倉藤  
男社長と森教授、学生たち  
が、新型コロナウイルス感  
染防止のためオンラインで  
懇談。学生たちはそれぞれ  
の自宅から参加した。神倉  
社長が事業説明などをし、  
学生からは質疑応答があつ

神倉社長は「議論を重ね、どの部分で学生の視点を生かしていくか、検討したい」と述べた。

「サ」などの販売で、インターネット通販事業に力を入れている。ネット通販の利

(中津芳子)

松本市並柳の冷凍ギミック専門メーカー「信栄食品」が、長野大企業情報学部（上田市）のゼミナールの研究対象企業に選ばれた。森俊也教授のゼミに所属する二一四年生四十五人が本年度、同社の事業展開について考え、新たなビジネスを提案する。

森教授のセミでは、一企業イノベーションプロジェクト」と題し、県内各地の企業が抱える課題について学生が考え、解決につなげる活動を展開。今回は推薦を受けて、信栄食品を対象企業に選定した。